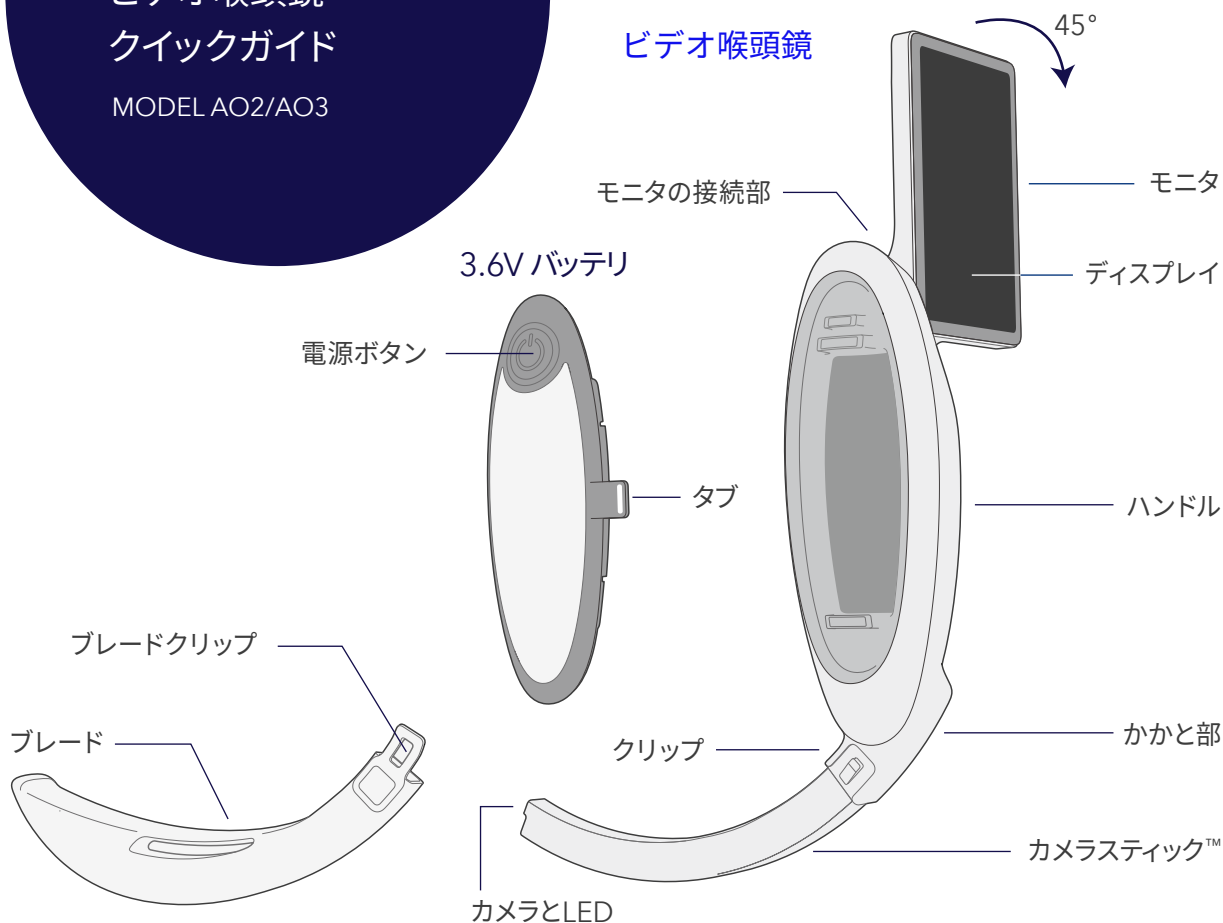


# McGRATH™ MAC ビデオ喉頭鏡 クイックガイド

MODEL AO2/AO3

## ビデオ喉頭鏡



## ディスプレイザブル喉頭鏡ブレード (別売)

McGRATH	MAC 1 喉頭鏡ブレード (MODEL AO3 専用)
McGRATH	MAC 2 喉頭鏡ブレード
McGRATH	MAC 3 喉頭鏡ブレード
McGRATH	MAC 4 喉頭鏡ブレード
McGRATH	X BLADE™ X3 ブレード (挿管困難用)

販売名: McGRATH MAC AO3ビデオ喉頭鏡  
医療機器認証番号: 302ACBZX00012000

販売名: McGRATH MACビデオ喉頭鏡  
医療機器認証番号: 224AABZX00112000

販売名: McGRATH MACディスプレイザブルブレード  
医療機器届出番号: 13B1X00069AC001A

販売名: McGRATH Xディスプレイザブルブレード  
医療機器届出番号: 13B1X00069AC002A

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等につきましては、製品の電子添文をご参照ください。

© 2016-2022 Medtronic. Medtronic及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。  
TMを付記した商標は、Medtronic companyの商標です。

# Medtronic

製造販売元  
コヴィディエンジャパン株式会社  
Tel : 0120-998-971

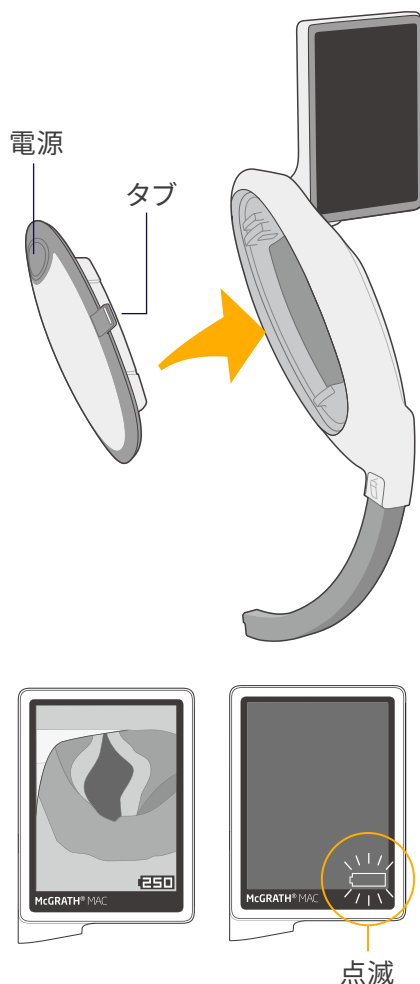
medtronic.co.jp

mt-aw-mggg(m4)2204  
RMS\_2021\_0908-A-1

## ● バッテリーの準備

※ 本機器には専用の3.6Vバッテリーのみを使用してください

- 1 右図のようにハンドル部くぼみに押し込んでセットします。
- 2 電源ボタンを1回押すごとに機器の電源をオン/オフすることができます。
- 3 バッテリーの使用可能な時間は画面右下に表示されます。250からスタートして電池が消費されるにつれて数字が減ります。数字が5になってアイコンが点滅し始めたら、バッテリーを交換してください。  
(交換時はタブを引っ張ってバッテリーを外します)
- 4 機器を1ヶ月以上使用しない場合はバッテリーを外してください。

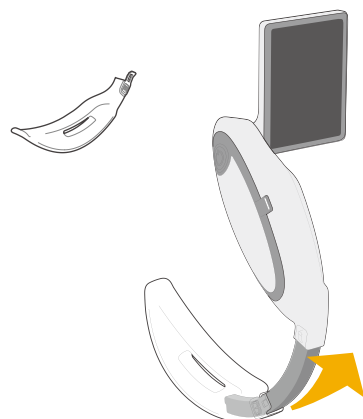


### オートオフ機能 (AO3のみ)

電源の切り忘れによるバッテリーの消耗を防止するため、動作が無ければ、約15秒でスリープ、3分でオートオフします。

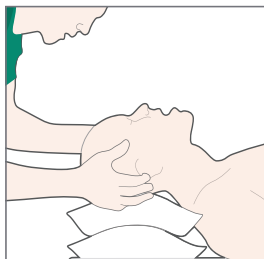
## ● ブレードの準備

- 1 包装シール（滅菌パック）をはがし、形に沿ってかぶせるように、ブレードをカメラスティックにはめ込みます。
- 2 ブレードクリップがカメラスティックにしっかりはまったら装着完了です。
- 3 患者さんに応じてブレードのサイズ、タイプを選択してください。



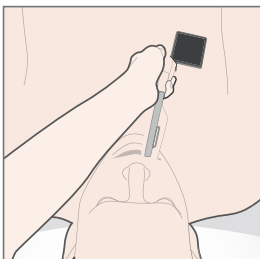
## ● 使用方法：MAC blade (1, 2, 3, 4)

1



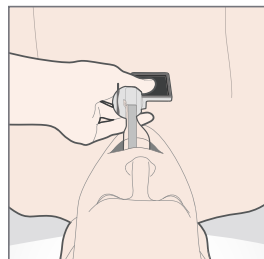
可能なら直接喉頭鏡検査ができるよう患者さんを適切な体位に保持します。

2



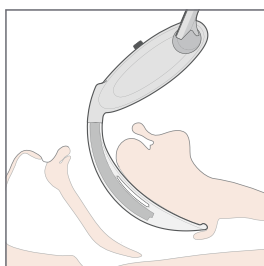
口腔内を確認して右口角からブレードを挿入します。

3



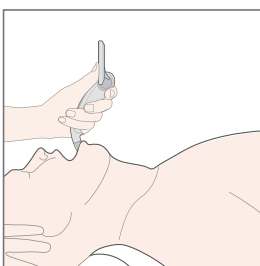
舌を左側へ寄せながら機器を中央へ移動します。

4



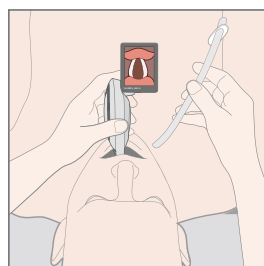
ブレード先端を喉頭蓋谷に進めます。

5



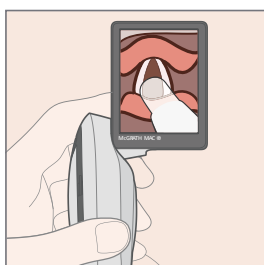
ディスプレイに喉頭蓋を映します。  
喉頭蓋を前上方に挙上させ、声門を直視、あるいはディスプレイで間接的に確認します。  
機器を適切な位置に保持していれば、喉頭蓋がディスプレイ中央上方に映し出されています。

6



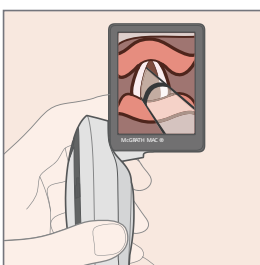
声帯を傷つけないように慎重にチューブを挿入します。  
挿管作業は直接口腔内を見ながらでも、ディスプレイを見ながらでも、また両方併用でも行うことができます。  
舌を回避させ、気道軸を一致させてもチューブの挿管ができない場合は、スタイレットかブジーが必要になることがあります。

7



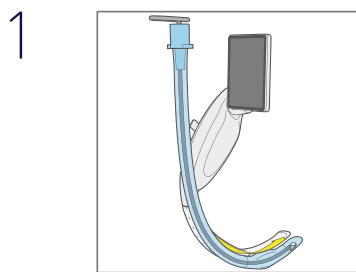
声帯を過ぎたら、挿管の状態をディスプレイを通して確認してください。  
適切な挿管手技が行われていれば、気管チューブはディスプレイ右側に映し出されます。

8

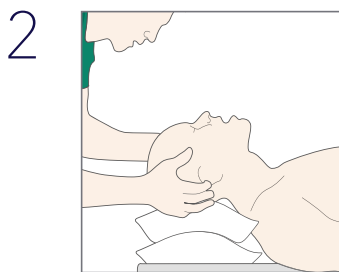


気管チューブの挿入部を、より近接画面で確認することができます。  
適切に挿管されていることを確認し、ブレードを口腔内からゆっくりと抜去します。  
この時、ブレードがカメラスティックから脱落し、口腔内に残っていないことを確認してください。

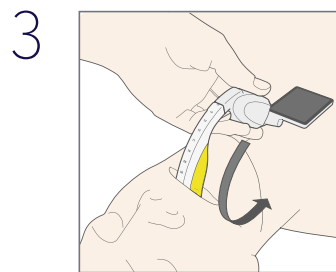
## ● 使用方法：X blade™



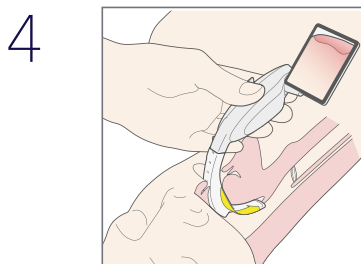
気管チューブにスタイレット<sup>1)</sup>を挿入し、ブレードのカーブの形状に合わせてチューブを形成します。



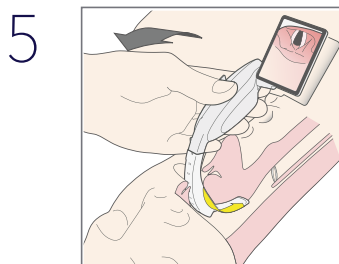
可能なら、適切な挿入ができるよう患者さんの頭部を持ち上げ、スニッフィングポジションにします。



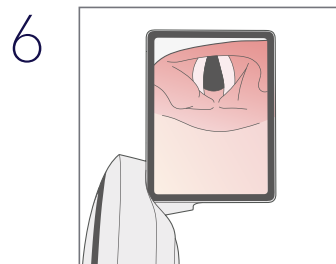
正中アプローチを用いて舌に沿わせてブレードを口腔内に挿入します。このときブレード前方が舌に接触していることを確認しながら、喉頭蓋がディスプレイ上部に見えるまでブレードを押し進めます。



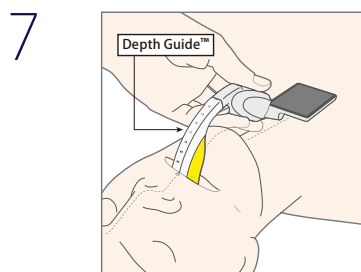
ブレードの先端を喉頭蓋谷に位置させます。



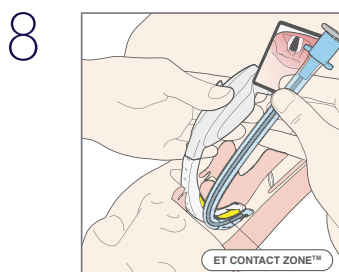
最小限の力で喉頭蓋を前上方に挙上させ、声門をディスプレイで間接的に確認します。



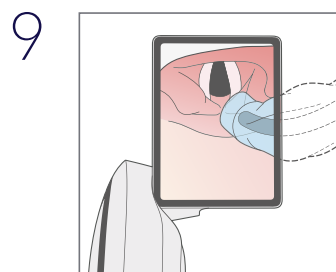
機器を適切な位置に保持していれば、喉頭蓋がディスプレイの中央上方に映し出されます<sup>2)</sup>。



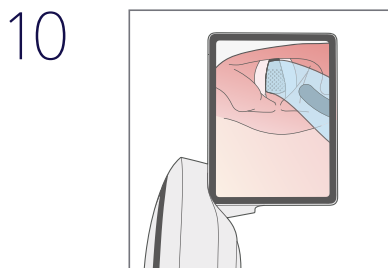
ブレードの挿入深度の目安として、Depth Guide™の深度マークを用いることもできます<sup>3)</sup>。



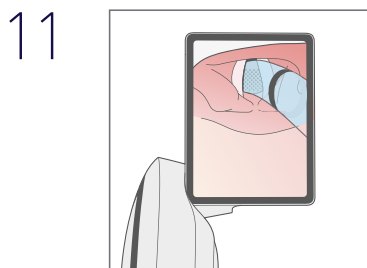
右隅角から気管チューブを挿入します。チューブがブレードの ET CONTACT ZONE™と表示された部分と接触したままになっていることを確認しながら、ブレードのカーブに沿って押し進めます。



気管チューブは画面右手に映し出されます。先端が声帯の前に来るまでチューブを押し進めます。



スタイレットが声帯を通過しないようにスタイレットをしっかり保持し、チューブを滑らかにスタイレットから移動させ声帯を通過させます。チューブ先端が声帯を通ったらすぐにスタイレットを完全に取り除きます。



気管チューブの挿入部を、より近接画面で確認することができます。適切に挿管されていることを確認し、ブレードを口腔内からゆっくりと抜去します。この時、ブレードがカメラスティックから脱落し、口腔内に残っていないことを確認してください。

1) 臨床経験より、適切な挿管にはスタイレットの使用が必要であることが示されています。ブジーの使用は推奨しません。

2) 気管チューブ挿入に必要な空間を維持するため、ブレードを深く押し進めないことが重要です。

3) DepthGuide はブレード挿入の目安として、訓練時から参照することが有用です。